



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
 コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古川 與四郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 健
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

TEL 06-6454-2331

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	40,600	△10.9	3,479	△5.8	3,344	△7.8	1,838	△28.7
22年3月期第3四半期	45,542	△11.9	3,693	△34.0	3,629	△34.1	2,579	△6.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	57.75	—
22年3月期第3四半期	81.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	64,613	20,618	31.9	647.24
22年3月期	64,007	19,125	29.9	600.35

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 20,606百万円 22年3月期 19,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	△10.6	4,800	△11.2	4,800	△9.6	2,600	△25.2	81.63

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ー ）、除外 一社（社名 ー ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	31,850,000株	22年3月期	31,850,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	12,690株	22年3月期	12,063株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	31,837,606株	22年3月期3Q	31,838,047株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
	(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	6
	【第3四半期連結累計期間】	6
	【第3四半期連結会計期間】	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	9
	(5) セグメント情報	9
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	12
	(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）における我が国経済は、一部に外需主導による企業収益の改善が見られたものの、不安定な世界経済や円高基調の継続等により先行き不透明感が強い状況が続いております。

このような企業環境下、積極的な事業展開を進めました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40,600百万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は3,479百万円（前年同四半期比5.8%減）、経常利益は3,344百万円（前年同四半期比7.8%減）、当第3四半期純利益は1,838百万円（前年同四半期比28.7%減）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

主力の新造船向けディーゼルエンジンの販売が海外向けを中心に前年同四半期比で減少し、売上高は35,038百万円、セグメント利益は5,304百万円となりました。

ロ) 陸用機関関連

民間の設備投資意欲低迷の影響等によりエンジン販売の低迷が続いたことから、売上高は3,739百万円、セグメント損失は156百万円となりました。

従いまして、当部門の売上高は38,778百万円、セグメント利益は5,148百万円となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

前年度末をもって建築金物関連部門の清算が完了したことに加え、アルミホイール部門についても売上が減少となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連については売上高、営業利益とも減少となりました。

従いまして、当部門の売上高は1,822百万円、セグメント利益は482百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、12,289百万円と前連結会計年度末に比べ6,654百万円の増加（前第3四半期連結累計期間は587百万円の減少）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による1,527百万円の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益3,082百万円を確保し、減価償却費計上2,241百万円、売上債権の減少4,481百万円により、8,831百万円の増加（前第3四半期連結累計期間は2,940百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が474百万円ありましたが、設備投資による有形固定資産の取得に1,637百万円を支出したことで、1,175百万円の減少（前第3四半期連結累計期間は2,465百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金による収入が1,530百万円ありましたが、長期借入金の返済による支出1,144百万円、ファイナンスリース債務の返済による支出517百万円、社債の償還による支出500百万円及び配当金支払による支出254百万円があり、これにより、886百万円の減少（前第3四半期連結累計期間は1,126百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月28日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

・ 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理の変更)

・ 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は5百万円、税金等調整前四半期純利益は294百万円減少しております。

(表示方法の変更)

・ 四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第5号 平成21年3月24日)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,764	6,620
受取手形及び売掛金	12,658	17,348
たな卸資産	11,046	10,311
その他	2,767	2,742
貸倒引当金	△44	△90
流動資産合計	39,192	36,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,909	8,226
機械装置及び運搬具(純額)	6,577	7,345
土地	5,021	5,028
その他(純額)	1,180	1,424
有形固定資産合計	20,688	22,025
無形固定資産	1,215	1,601
投資その他の資産		
投資有価証券	813	862
その他	2,836	2,714
貸倒引当金	△131	△130
投資その他の資産合計	3,518	3,447
固定資産合計	25,421	27,074
資産合計	64,613	64,007
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,170	12,446
短期借入金	10,497	7,732
リース債務	617	684
未払法人税等	514	802
賞与引当金	283	756
役員賞与引当金	48	65
その他	5,363	5,976
流動負債合計	30,496	28,463
固定負債		
長期借入金	4,397	7,276
リース債務	841	1,253
退職給付引当金	4,293	4,238
役員退職慰労引当金	464	447
その他	3,500	3,202
固定負債合計	13,499	16,418
負債合計	43,995	44,882

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,170	2,170
利益剰余金	15,471	13,887
自己株式	△8	△7
株主資本合計	20,068	18,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	107
繰延ヘッジ損益	4	△8
土地再評価差額金	716	716
為替換算調整勘定	△250	△185
評価・換算差額等合計	537	629
少数株主持分	11	10
純資産合計	20,618	19,125
負債純資産合計	64,613	64,007

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	45,542	40,600
売上原価	33,656	29,263
売上総利益	11,886	11,337
販売費及び一般管理費		
販売費	6,322	5,706
一般管理費	1,870	2,151
販売費及び一般管理費合計	8,192	7,857
営業利益	3,693	3,479
営業外収益		
受取利息	21	12
受取配当金	12	12
負ののれん償却額	46	46
その他	185	87
営業外収益合計	265	158
営業外費用		
支払利息	239	207
為替差損	48	50
その他	42	35
営業外費用合計	329	293
経常利益	3,629	3,344
特別利益		
固定資産売却益	0	1
貸倒引当金戻入額	15	46
関係会社清算益	468	—
特別利益合計	484	47
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	18	12
その他	4	296
特別損失合計	24	309
税金等調整前四半期純利益	4,090	3,082
法人税、住民税及び事業税	952	1,244
法人税等調整額	555	△1
法人税等合計	1,507	1,242
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,839
少数株主利益	2	0
四半期純利益	2,579	1,838

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	14,286	14,267
売上原価	10,266	10,255
売上総利益	4,020	4,011
販売費及び一般管理費		
販売費	2,084	1,960
一般管理費	569	740
販売費及び一般管理費合計	2,653	2,700
営業利益	1,366	1,311
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	0	0
為替差益	23	—
負ののれん償却額	15	15
その他	44	34
営業外収益合計	86	55
営業外費用		
支払利息	78	65
為替差損	—	13
その他	10	6
営業外費用合計	89	85
経常利益	1,363	1,281
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	4
関係会社清算益	468	—
特別利益合計	476	4
特別損失		
固定資産廃棄損	6	3
その他	3	5
特別損失合計	9	9
税金等調整前四半期純利益	1,830	1,276
法人税、住民税及び事業税	△370	351
法人税等調整額	893	126
法人税等合計	522	478
少数株主損益調整前四半期純利益	—	797
少数株主利益	1	0
四半期純利益	1,306	797

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,090	3,082
減価償却費	2,193	2,241
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△99	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△400	△472
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△16
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	325	55
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	55	17
受取利息及び受取配当金	△33	△24
支払利息	239	207
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2
ゴルフ会員権評価損	—	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産廃棄損	18	12
関係会社清算損益 (△は益)	△468	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	289
売上債権の増減額 (△は増加)	3,373	4,481
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△872	△736
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,841	937
その他	△306	494
小計	5,252	10,529
利息及び配当金の受取額	41	31
利息の支払額	△234	△201
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,117	△1,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,940	8,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,568	△1,637
有形固定資産の売却による収入	3	3
無形固定資産の取得による支出	△26	△1
投資有価証券の取得による支出	—	△0
投資有価証券の売却による収入	1	—
関係会社株式の取得による支出	—	△20
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	8	7
定期預金の払戻による収入	775	474
定期預金の預入による支出	△656	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,465	△1,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,382	1,530
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,798	△1,144
社債の償還による支出	△140	△500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△550	△517
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△254	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,126	△886
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	△115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△587	6,654
現金及び現金同等物の期首残高	7,199	5,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,611	12,289

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める内燃機関関連事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日 本	東南アジア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	10,519	2,557	1,208	14,286	—	14,286
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,971	22	87	3,080	(3,080)	—
計	13,491	2,579	1,296	17,366	(3,080)	14,286
営業費用	11,682	2,497	1,248	15,428	(2,508)	12,919
営業利益	1,808	82	47	1,938	(572)	1,366

(注) ①国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

②日本以外の区分に属する主な国又は地域

東南アジア——シンガポール・中国

その他の地域——イギリス・アメリカ

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の管理部門（経営企画、管理、経理等）に係る費用であります。

前第3四半期連結会計期間 569百万円

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日 本	東南アジア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	35,155	6,792	3,594	45,542	—	45,542
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8,810	69	250	9,130	(9,130)	—
計	43,965	6,862	3,844	54,673	(9,130)	45,542
営業費用	38,868	6,628	3,627	49,124	(7,275)	41,849
営業利益	5,096	233	217	5,548	(1,854)	3,693

(注) ①国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

②日本以外の区分に属する主な国又は地域

東南アジア——シンガポール・中国

その他の地域——イギリス・アメリカ

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の管理部門（経営企画、管理、経理等）に係る費用であります。

前第3四半期連結累計期間 1,870百万円

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）（単位：百万円）

	東南アジア	中南米	その他の地域	計
I 海外売上高	5,285	239	1,403	6,929
II 連結売上高				14,286
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	37.0	1.7	9.8	48.5

(注) ①国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

②各区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア——韓国・中国・シンガポール・フィリピン

(2) 中南米——ブラジル

(3) その他の地域——イギリス・アメリカ

③海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）（単位：百万円）

	東南アジア	中南米	その他の地域	計
I 海外売上高	19,012	745	3,244	23,002
II 連結売上高				45,542
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	41.8	1.6	7.1	50.5

(注) ①国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

②各区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア——韓国・中国・シンガポール・フィリピン

(2) 中南米——ブラジル

(3) その他の地域——イギリス・アメリカ

③海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業構成を財務情報として区分し、定期的開催する取締役会において行う、各事業別年間事業計画の達成水準評価のための財務報告に基づいております。

当社は、内燃機関の製造販売を本業とし、一部で関係会社への内燃機関関連以外の製品供給と、当社が所有する不動産を活用する事業を行っております。

当社事業の大部分を占める内燃機関は、船舶用と陸上用とでその稼働状況が大きく異なっておりますので、当社といたしましては機関の生産・販売からアフターサービスに至るまでの事業活動を船舶用と陸上用とに区分して管理・評価しております。

従って、当社の報告セグメントは船用機関関連と陸用機関関連の2つで構成しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) ①	合計	調整額 (注) ②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) ③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	35,038	3,739	38,778	1,822	40,600	—	40,600
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,038	3,739	38,778	1,822	40,600	—	40,600
セグメント利益 又は損失 (△)	5,304	△156	5,148	482	5,630	△2,151	3,479

(注) ①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) ①	合計	調整額 (注) ②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) ③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	12,079	1,615	13,694	572	14,267	—	14,267
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,079	1,615	13,694	572	14,267	—	14,267
セグメント利益 又は損失 (△)	1,840	58	1,898	152	2,051	△740	1,311

(注) ①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

【生産・受注および販売の状況】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同期比
			%
内燃機関部門	馬力		
船用機関関連	791,580	35,038	—
陸用機関関連	31,856	3,739	—
その他の部門	—	1,185	—
合 計		39,963	—

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受 注 高			受 注 残 高		
	数 量	金 額	前年同期比	数 量	金 額	前年同期比
	馬力		%	馬力		%
内燃機関部門						
船用機関関連	608,366	30,446 (16,201)	—	1,418,265	38,379 (15,995)	—
陸用機関関連	102,544	5,720 (1,239)	—	112,973	4,567 (725)	—
その他の部門	—	1,145 (—)	—	—	115 (—)	—
合 計		37,312 (17,440)	—		43,061 (16,720)	—

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② () 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	輸出比率	前年同期比
			%	%
内燃機関部門	馬力			
船用機関関連	791,580	35,038 (19,639)	56.1	—
陸用機関関連	31,856	3,739 (514)	13.8	—
その他の部門 (注)③	—	1,822 (—)	—	—
合 計		40,600 (20,154)	49.6	—

(注) ① () 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

東南アジア (80.1%)、欧州 (12.2%)、中南米 (5.9%)、北米 (1.7%)、その他 (0.1%)

③「その他の部門」には産業機器関連(1,185百万円)、不動産賃貸関連(637百万円)を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【生産・受注および販売の状況】

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期比
			%
内燃機関部門	馬力		%
船用機関関連	231,210	12,079	—
陸用機関関連	6,152	1,615	—
その他の部門	—	284	—
合 計		13,979	—

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受 注 高			受 注 残 高		
	数 量	金 額	前年同四半期比	数 量	金 額	前年同四半期比
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	193,853	11,836 (4,465)	—	1,418,265	38,379 (15,995)	—
陸用機関関連	46,960	2,155 (353)	—	112,973	4,567 (725)	—
その他の部門	—	283 (—)	—	—	115 (—)	—
合 計		14,275 (4,819)	—		43,061 (16,720)	—

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② () 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	輸出比率	前年同四半期比
内燃機関部門	馬力		%	%
船用機関関連	231,210	12,079 (6,710)	55.6	—
陸用機関関連	6,152	1,615 (171)	10.6	—
その他の部門 (注)③	—	572 (—)	—	—
合 計		14,267 (6,882)	48.2	—

(注) ① () 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

東南アジア (83.6%)、欧州 (10.3%)、中南米 (4.3%)、北米 (1.7%)、その他 (0.1%)

③「その他の部門」には産業機器関連(284百万円)、不動産賃貸関連(287百万円)を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。